

政務活動費収支報告書

令和 2年 3月 31日

富士宮市議会議長 佐野 寿夫 様

会派名称 富岳会

代表者氏名 松永 孝男

令和 元年度の政務活動費に係る収入及び支出について、下記のとおり報告します。

記

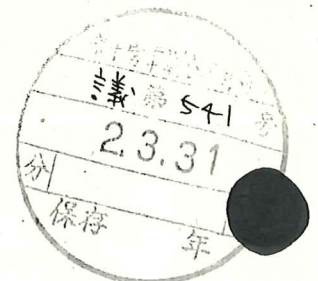
1 収入

政務活動費 1,500,000 円

2 支出

項目	金額 (円)	主たる支出の内訳
資料作成費	0	
資料購入費	0	
会議費	0	
事務費	0	
調査旅費	451,850	視察旅費
その他経費	8,000	お土産代
合計	459,850	

3 残額 1,040,150 円



第5号様式（第4条関係）

政務活動費交付決定通知書

富行第27号の2

令和元年5月13日

富岳会

代表者 松永 孝男 様

富士宮市長 須藤 秀 忠

令和元年5月8日付けで申請のあった政務活動費の交付について、
下記のとおり決定したので通知します。

記

令和元年度交付決定額 150万円

収 入 伝 票

	代表者印	●	経 理 責任者印	●
項 目	政務活動費			
金 額	1,500,000円			
内 容	政務活動費 5人分 氏名 松永孝男 小松快造 佐野和彦 佐野 孜 望月則男			
収 入 先	富士宮市長			
収入年月日	令和 元年 5月 13日			
摘 要				
— 領収書(明細)貼付欄 —	出納簿記入済 印			●

支 出 伝 票

代表者印

経 理
責任者印

項 目	調査旅費
金 額	451,850 円
内 容	①姫路市 ②新居浜市 ③松山市 ④高知市立土佐山学舎への行政視察のための旅費
目 的	①姫路市 姫路市観光戦略プランについて ②新居浜市 新居浜市シティブランド戦略について ③松山市 松山市都市ブランド戦略について ④高知市立土佐山学舎 義務教育学校土佐山学舎と総合学習の土佐山学の内容について
支 出 先	松永孝男、小松快造、佐野和彦、佐野孜、望月則男
支払年月日	令和元年 7月 11日
その他特記事項 (参加者・人数等) 富岳会 松永孝男、小松快造、佐野和彦、佐野孜、望月則男 以上5名	

— 領収書 (明細) 貼付欄 —

出納簿記入済 印



視 察 申 請 書

起 案	令和 元 年 5 月 22 日	決 裁	令和 元 年 7 月 11 日
承認者	会派 代表者	松永孝男	予 算 項 目 調 査 旅 費
所 属	氏 名	印	備 考
1	富岳会	松永孝男	
2	〃	小松快造	
3	〃	佐野和彦	
4	〃	佐野孜	
5	〃	望月則男	
視察市町村	視 察 先	目 的	
姫路市	姫路市役所	姫路市観光戦略プランについて	
新居浜市	新居浜市役所	新居浜市シティブランド戦略について	
松山市	松山市役所	松山市都市ブランド戦略プランについて	
高知市	高知市土佐山学舎	義務教育学校土佐山学舎と総合学習の土佐山学の内容について	
宿 泊 地	出 発 年 月 日	帰 省 年 月 日	
愛媛県新居浜市 高知県高知市	令和 元 年 7 月 16 日	令和 元 年 7 月 18 日	

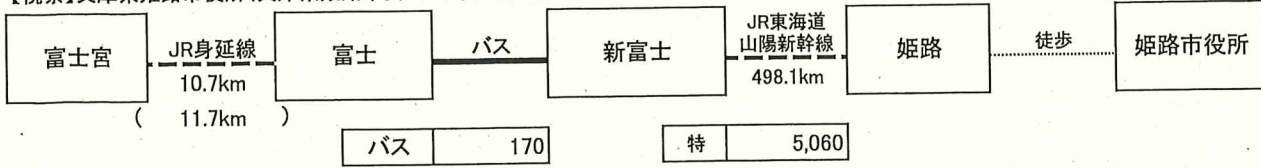
政 務 活 動 費 用

旅費計算書(政務活動費)

富岳会
 (松永孝男議員・小松快造議員・
 佐野和彦議員・佐野孜議員・
 望月則男議員)

● 1日目: 令和元年7月16日(火)通常期

【視察】兵庫県姫路市役所(兵庫県姫路市安田4丁目1番地)



※視察:「姫路市観光戦略プラン」について



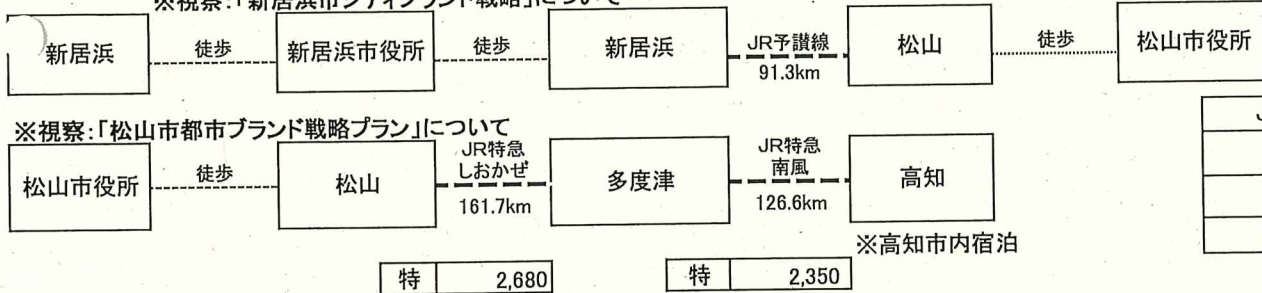
JR運賃営業キロ	
721.5 Km	
10,480 円	
バス	170円

※新居浜市内宿泊

● 2日目: 令和元年7月17日(水)通常期

【視察】愛媛県新居浜市役所(愛媛県新居浜市一宮町1丁目5-1)・愛媛県松山市役所(愛媛県松山市二番町4丁目7-2)

※視察:「新居浜市シティブランド戦略」について

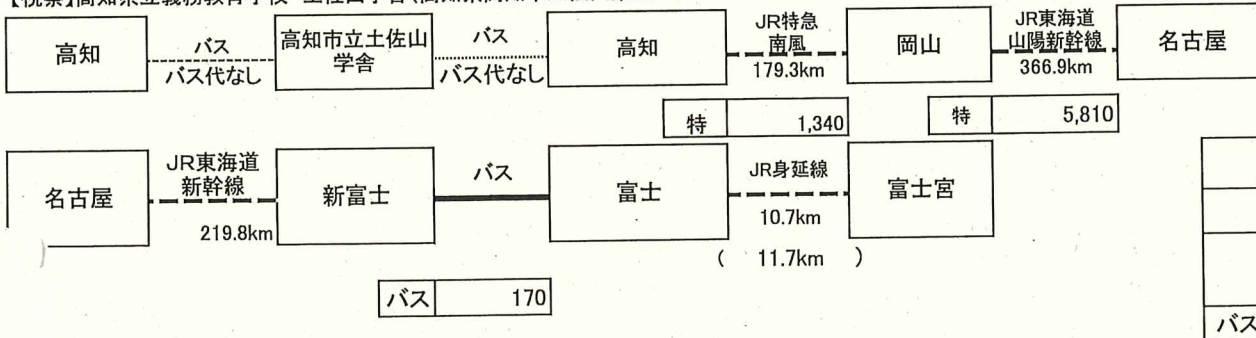


JR運賃営業キロ	
379.6 Km	
6,260 円	

※高知市内宿泊

● 3日目: 令和元年7月18日(木)通常期

【視察】高知県立義務教育学校 土佐山学舎(高知県高知市土佐山桑尾13)



JR運賃営業キロ	
777.7 km	
10,800 円	
バス	170円

鉄道賃	JR	27,540 円	運賃 A	47,470 円 × 1 人 = 47,470 円			
	私鉄	0 円		日当	3,300 円 × 3 日 × 1 人 = 9,900 円		
特急料金	通常	19,590 円	宿泊料		16,500 円 × 2 夜 × 1 人 = 33,000 円		
	閑散	円			旅費合計	90,370 円/人 × 5 人 = 451,850 円	
航空運賃	料金	円					
船賃		円					
車賃(バス)		340 円					
1人往復運賃合計 A		47,470 円					

※ 6月21日 人事課確認済

視察・研修報告書

	氏 名	富岳会
視察 年月日	令和元年 7月16日～18日	
視察先	姫路市 観光戦略プラン	
参加者	松永孝男 小松快造 佐野和彦 佐野 孜 望月則男	
視察・研修内容 <small>(概要、特色、 効果、課題等)</small>	<p>姫路市観光戦略プラン</p> <p>1 基本テーマ 「観光を通して、愛し愛される町 姫路」</p> <p>2 概要</p> <p>①観光を展開する意義</p> <ul style="list-style-type: none"> ・世界遺産を有する町として、観光をまちづくりの力とし、多面的な成長を実現する <p>②観光戦略プランの位置づけ</p> <ul style="list-style-type: none"> ・総合計画の分野別計画他と連動して施策を展開 <p>③計画期間 平成29年から5年間</p> <p>④数値目標 年間 1,000万人以上</p> <p>3 施策</p> <p>①観光客受け入れ環境の充実</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ホスピタリティと利便性の向上 <p>②滞在型観光の推進</p> <ul style="list-style-type: none"> ・魅力ある観光資源の開発とPR ・イベントによる魅力の創出 <p>4 推進体制 情勢の把握と分析を行い、市民や事業者等との協力 行政内の連携を行う</p> <p>5 感想</p> <ul style="list-style-type: none"> ・世界遺産にある町としてその魅力の創出、再認識やプランの推進体制を熟慮している ・富士宮市の第5次総合計画にも基本政策を進めるための推進エンジンをどうするか考える事が必要になる 	

視察報告書

会派名		富岳会
視察 年月日	令和元年7月17日(水)	
視察先	愛媛県新居浜市「新居浜市シティブランド戦略」	
参加者	富岳会：松永孝男、小松快造、佐野和彦、佐野孜、望月則男 計5人	
視察内容 (概要、特色、 効果、課題等)	<p>1. 目的：「新居浜市シティブランド戦略」について</p> <p>2. 訪問先：愛媛県新居浜市役所 企画部 総括次長 兼 地方創生推進監 兼 地方創生推進課長 佐藤博幸 議会事務局 議事課 主幹 小島篤 新居浜市議会 議長 伊藤謙司</p> <p>3. 新居浜市の概況 人口 約12万人、合計特殊出生率1.8、経済収支比率80.1% 実質公債費率 3.3 財政力指数 0.76 瀬戸内海に面し、南は四国山地(赤石山系)海と山に囲まれた自然豊かなまち。四国の瀬戸内海側のほぼ中央に位置し、四国全域へのアクセスも便利な人口約12万人の臨海工業都市</p> <p>4. 「新居浜市シティブランド戦略」について 「新居浜市の目指す方向を明らかにし、市民と行政が一緒になって、未来の新居浜をつくっていく活動」とし、平成27年12月に策定した2060年の将来目標人口9万人、「住みたい、住み続けたい あかがねのまち」の実現を目指す、人口減少の抑制と新居浜市の地方創生に資する事業を実施</p> <p>5. 事業推移 平成29年に市制施行80周年を迎えスタート まずは、新居浜市の現状と課題を市民と共有、産業構造として住友グループ企業を中心となっており、日本における産業近代化の縮図とも呼べる地域であり、合計特殊出生率が1.8という四国で最も高いという特徴に行政と市民が意識を共有</p> <p>課題の分析 SWOT分析を使用 ブランド価値構造の策定 特徴的な事として、市の取組は市民のためではあるが、あくまでも象徴的なターゲットを設定することとし、そのターゲットを練り上げることで市民に伝わり、共感、参加できるものを策定 導入時には広告代理店に依頼し、デザイン、ブランド・スローガン、シンボルマークなどのブランディングを市と協力して実施</p> <p>結果的に「新居浜市のファン」づくりが一つのポイントになると考え、行政と市民がそれぞれ設定した課題にとりくんでいくこと</p>	

とした。

6. 事業目標（平成 28 年現在と平成 31 年の目標

好意度 75.6% → 80.0%

誇り度 56.4% → 60.0%

魅力度 3.5 点 → 8.0 点

7. 実施事業

#ニイハマ 刊行

観光協会による太鼓祭りの広報誌 作成

市制だよりもブランディングの一環として発行

ニイハマライフ（10 年後の未来予想図）発行

Hello!NEW 新居浜 の定期発行

Hello!NEW をキャッチコピーにしたステッカーなどのノベルティ
作成・配布

視察・研修報告書

	氏 名	富岳会
視察 年月日	令和元年 7月16日～18日	
視察先	松山市 都市ブランド戦略プラン	
参加者	松永孝男 小松快造 佐野和彦 佐野 孜 望月則男	
視察・研修内容 <small>(概要、特色、効果、課題等)</small>	<p>松山市 都市ブランド戦略プラン</p> <p>1 目標 全国の人々から「選ばれる都市」の実現 理由 認知度、魅力が低く、特に情報接触度が低い</p> <p>2 都市ブランド設立の基本方針</p> <p>① 都市イメージの明確化</p> <ul style="list-style-type: none"> ・市民の愛着や誇りの創造 ・松山の魅力を「カタチ」する為の組織 「都市ブランド戦略会議」 「市民ワークショップ」 「首都圏ふるさとミーティング」 「市民意見募集」 <p>3 都市イメージの明確化 松山の魅力を形にするブランドメッセージの開発</p> <p>①人と暮らしやすさから「いい、加減。まつやま」</p> <p>② 市民への浸透から「ロゴマーク」の決定</p> <p>③ 「マッツ」と「ヤンマ」と「モブリ」さん等の アニメーションの製作</p> <p>4 戦略的な情報の発信 ずっと手元に置きたいフリーペーパー 「暖 暖 松山」をターゲットに届く配布網の開発</p> <p>5 今後の展開 都市イメージ向上事業を継続する メディアへのプロモーション 「ブラタモリ」NHK系「王様のブランチ」TBS等</p> <p>6 感想 世界に通用する偉大な「富士山」の魅力や特産物を市民全体で見つめ直しアピールするための「広報ふじのみや」 「さくやちゃん」を再検討する。</p>	

視察・研修報告書

氏 名		富岳会
視察 年月日	令和元年 7月16日～18日	
視察先	高知市立 土佐山学舎	
参加者	松永孝男 小松快造 佐野和彦 佐野 孜 望月則男	
視察・研修内容 (概要、特色、 効果、課題等)	<p>土佐山学舎</p> <p>1 沿革</p> <p>平成 17 年 土佐山村が高知市に合併</p> <p>平成 23 年 土佐山 100 年構想</p> <p>平成 27 年 小中一貫校 土佐山学舎として開校</p> <p>平成 28 年 義務教育学校 土佐山学舎と校種変更</p> <p>2 特色</p> <p>① 学校裁量による小中一貫教育課程</p> <p>前期ブロック 「夢を描く」 1、2、3、4 年生</p> <p>中期ブロック 「自分を見つめる」 5、6、7 年生</p> <p>後期ブロック 「道を拓く」 8、9 年生</p> <p>② 英語教育</p> <p>前期 慣れ親しむ 絵本 あいさつ 歌 ゲーム</p> <p>中期 聞く、話す 自己紹介 インタビュー</p> <p>後期 表現する 自分の考え 郷土の紹介</p> <p>英検 2 球合格を目指す 30 年度 5 名</p> <p>③ 土佐山学</p> <p>地域連携、キャリア教育、コミュニケーション活動</p> <p>前期 土佐山を知り、親しむ 自然の魅力 名人</p> <p>中期 土佐山を見つめる 魅力 自慢の再発見</p> <p>後期 土佐山に貢献する ふるさと PR</p> <p>3 感想</p> <ul style="list-style-type: none"> ・百年構想により 学校が地域と一体になり綿密に計画され、充実された教育内容 ・山間部の過疎地域が「行きたい・学びたい学校になる」 ・土佐山学で地域経済の活性化に取り組んでいる プレゼンテーションの内容は高校生を越えている 	

支 出 伝 票

代表者印

経理責任者印

項 目	その他の経費
金 額	8,000 円
内 容	土産代 お茶2本入れセット 4箱
目 的	行政視察に伴う姫路市、新居浜市、松山市、高知市立土佐山学舎への土産代
支 出 先	お茶の豊香園
支払年月日	令和 元 年 7 月 15 日
その他特記事項(参加者・人数等) お茶 2,000 円 × 4箱	

— 領収書等貼付欄 —

出納簿記入済 印

領 収 証

富士宮市議会
富岳会

様

No. _____

金額

¥ 8 0 0 0

内 訳	
現金	
小切手	/
手形	/
消費税額等(%)	

但品代

R/年 7月15日 上記正に領収いたしました

〒410-0068 静岡県富士宮市豊町15-14

お茶の豊香園

TEL・FAX (0544) 26-8647

収入印紙